



杉山 道夫
(市政・社民クラブ)

独自の教育委員会改革を

国の動向等を見ながら検討

議員 国で議論されて

いる教育委員会制度改革では、教育委員長と教育長を一本化し新教育長を市長が直接任命する案が出ている。その際にも公募を継続するか。

市長 教育長については、教育行政の責任者として情熱と確固たる信念を持ち、世界に通用する人材育成など、柔軟な発想と行動力を兼ね備えた人材を発掘したいとの思いで公募を実施しました。まだ先のことですが、今後は公募にこだわらず、教育行政の統括者としてふさわしい人を選ぶことになると思っています。

議員 教育委員会や教育委員の活動が市民から見えにくいのが、改善策は。 **教育委員長** 現在は支所で定例会を開催していますが、公民館などでの開

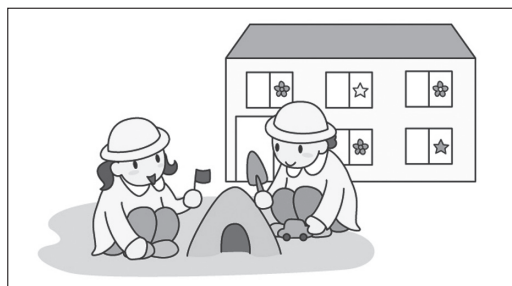
催を検討します。また、委員がそれぞれ学校を訪問するほか、近隣の高校や保育園・幼稚園も訪問して意見交換する必要がありますと考えています。

議員 将来、教育委員会としての基本条例のようなものをつくる考えはないか。

教育委員長 今の時点では言えないが、教育委員会制度改革などの動向を見て必要となれば検討しなければと思います。

議員 国では消費税の10%に当たる七千億円を子ども・子育て事業に回すようだが、市民ニーズや施設整備をどう考えるか。

市長 市内には認可外保育所が九所ありますが、事業者から意向を確認したところ、四所が認



子供たちの笑顔のために

可保育園に、五所が小規模保育へ移行を希望しています。希望どおりに移行した場合、待機児童が四十人ほど見込まれますが、将来の児童数は減少が見込まれ、現認可保育所の定員も百二十%まで増員が可能です。増員をお願いすることで、待機児童をゼロにしたいと考

診療報酬改定の 中央病院への影響は 収益確保できる 体制を整えたい



堰野端 展 雄
(高志会)

議員 団塊の世代が七十五歳を迎える平成三十七年に向けての診療報酬の改定が行われたが、今回の改定をどのように受け止めているか。

病院事業管理者 今回の診療報酬改定は、医療機関の機能分化、強化と連携、在宅医療等の充実が重点課題とされ、診療報

酬の配分がなされていきますが、実質的にはマイナス改定であると受け止めています。具体的な取り組みは今後協議、検討していきますが、確実に収益確保できる体制を整えたいと考えています。

議員 今回の改定でより一層の早期退院をうたっているが。

病院事務局長 退院可能となった患者には必然的に退院調整が行われていますが、さまざまな理由で入院延長を希望する患者もいます。その場合には退院後のケアに十分配慮した説明や医療ケースワーカーが相談に応じ、理解を求めています。また、今回の改定を踏まえ、長期入院が可能な亜急性期病棟の設置を検討します。

議員 犬のふんの不始末による苦情、相談への対応は。

市長 市では、生活環境保全条例を定め、公共の場所での清潔保持を定め、道路、広場、公園等

への汚物等の廃棄物の投棄を禁止しています。今後も、市民が安全に、安心して暮らすことができ、ペットの飼い主へのマナー向上の啓発に努めていきたいと思っています。

議員 町なかドッグランがあれば苦情がなくなるのでは。

民生部長 マナーの遵守については飼い主の責務と捉えており、ペットの苦情対策としてのドッグランの整備は難しいと考えます。市としては、なお一層、飼い主のマナー向上や意識啓発を図りたいと考えています。



飼い主の皆さん、ご注意を